

洪水・土砂災害 自主避難計画

当町内会では、住民全員が雨の量や周辺の様子に注意し、地域で避難開始を判断して住民全員で避難する仕組みをつくりました。以下の項目をみんなで実践しましょう。

1 日頃から住民全員がやっておくこと

- 地域の避難箇所、避難経路を確認!!
- 雨量に気を配る習慣をつけましょう!!
- 非常用持出袋を準備しておきましょう!!
- 自主防災組織の設立や家族や班で防災について話し合っておきましょう!!



『洪水・土砂災害緊急避難地図』(中面)を確認しておきましょう

2 雨が降り始めたら・・・

- 各自で雨量を計測 (裏表紙を参照)
- テレビなどで情報を収集 (裏表紙を参照)

自主避難の基準となる現象が起きていないか確認!!



土砂災害発生の危険が高まる目安は、**1時間雨量 20mm、連続雨量 100mm**の雨です

3 自主避難基準 に達したら、町内会役員等に報告し、それぞれがすぐに避難対応! →状況を共有して町内会みんなで避難対応!



自主避難基準 以下のような状況になったら、自主避難を開始してください。

- 釜石市役所が“**避難準備・高齢者等避難開始**”を発令した場合 (当面の運用基準)
(特に、一人暮らしの方や車をお持ちでない方は、**早めの避難を心掛けましょう**)

※上記以外の状況でも避難が必要と思う状況になった場合や、台風接近などで早い段階で大雨が予想される場合においても、身を守ることを第一に考えた避難対応をしましょう。

いざというときの避難対応 ∥「**早めの避難**」が重要! **避難に時間のかかる方は早めの行動が必要です**∥

台風や深夜の大雨が事前に予測される場合

国土交通省東北地方整備局 **南三陸国道事務所** へ避難

遠くまでの避難が困難な場合や移動に危険が伴う場合 (すでに道路が冠水など)

がけや沢から少しでも離れた頑丈な建物の2階以上 へ避難

状況によっては自宅待機が最も安全な場合もあります

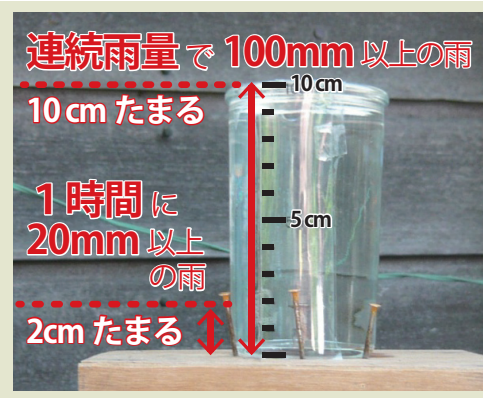


※この計画は令和元年11月～令和2年1月に実施した「洪水・土砂災害に対する警戒避難体制の整備支援事業」を通じて、片岸町内会として検討したものです。

! 雨量に注意する習慣をつけましょう

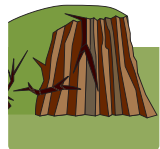
気象予報などを見るときには、雨量にも気を配る習慣をつけましょう。自宅周辺の雨量を測ることで、自宅周辺の土砂災害の危険の高まりを把握しやすくなります。右図の雨量が土砂災害発生の危険が高まる目安とされています。

高さ10cmのカップ酒の瓶を使うと風で倒れにくく便利です



! 前ぶれ (予兆現象) に注意しましょう

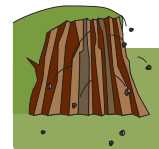
発生前には・・・



がけに割れ目が見える

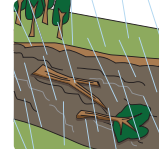


がけから水が湧き出ている

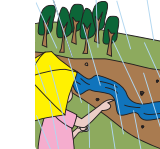


がけから小石がぱらぱら落ちてくる

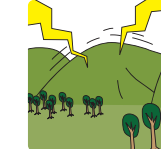
発生前には・・・



急に川の流れが濁り、流木が混ざっている



雨が降り続けているのに、川の水位が下がる

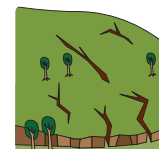


山鳴りがする

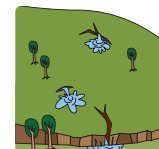
発生前には・・・



沢や井戸の水が濁る



地面にひび割れができる



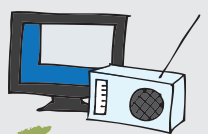
斜面から水が噴き出す

この他にも・・・

- 地鳴り、木根のちぎれる音、岩の割れる音などがする
- ものの腐ったようなにおい (腐葉土、下肥のにおい) がする
- 小動物が異常行動 (騒ぐなど) をとる など

! 情報を積極的に収集し、避難対応に活用しましょう

テレビ・ラジオ
※テレビのデータ放送は下記参照



市や気象庁のホームページ



緊急速報メール (エリアメール)



いわてモバイルメール
※QRコードから登録できます



防災行政無線・広報車・防災釜石広報 ☎ 0800-8003199
※防災行政無線の放送内容を電話で確認できます



自主防災組織 (町内会)



家族、ご近所、お知り合いに聞くのも立派な情報収集!!



住民

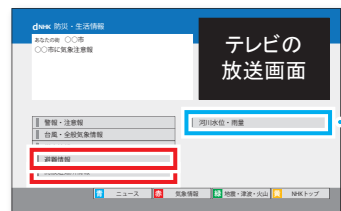
データ放送での確認方法 地デジテレビでNHK (地デジ1ch) を選択し、リモコンの **d** ボタンを選択

① 防災・生活情報を選択



(テレビ画面イメージ図)

② 確認したい情報を選択



(テレビ画面イメージ図)

③ 河川の水位・雨量を確認



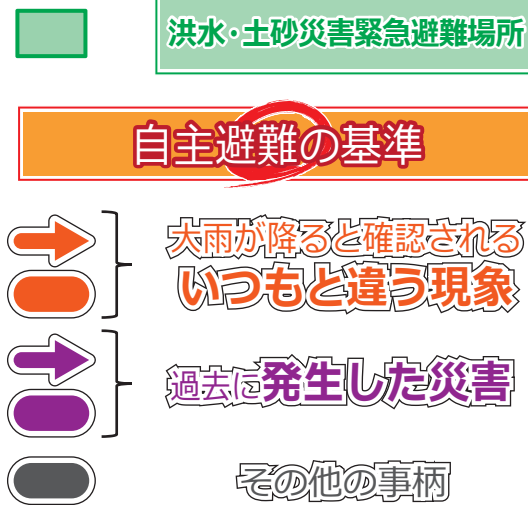
(テレビ画面イメージ図)

洪水・土砂災害緊急避難地図

片岸町内会

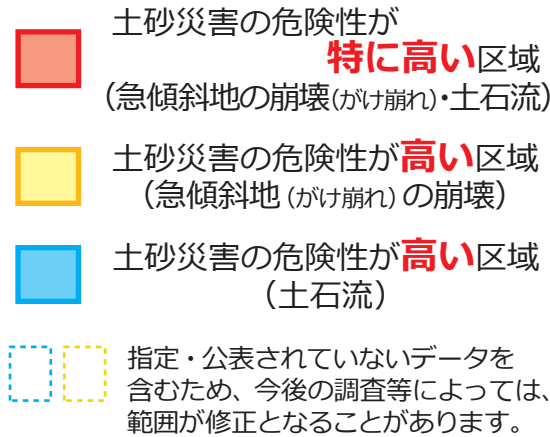
現在の技術では正確な雨量予測や災害発生地の特定が難しいため、避難勧告等に依存せず、**地域住民自らで危険に気づき、いざというときに避難の判断につなげる**ことが大切です。

住民懇談会で把握した情報



土砂災害の危険性

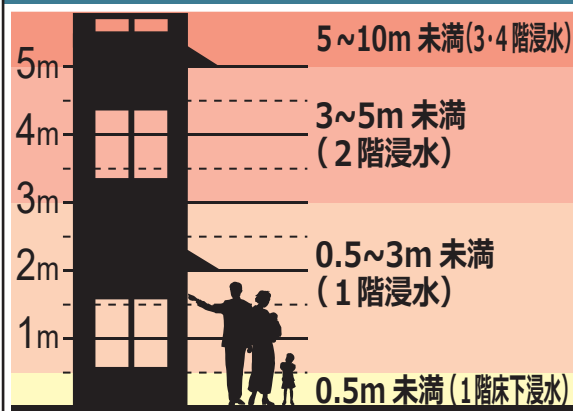
(岩手県砂防基礎調査結果および
土砂災害対策検討図に基づく)



洪水ハザードマップ

(鵜住居川浸水想定区域図(令和元年)に基づく)

津波ハザードマップではありません



【令和2年3月作成】

“避難準備・高齢者等避難開始” が発令された場合

水門、暗渠が
流木、土砂で詰まって
危険にならないが警戒が必要

流木などが詰まって
水があふれ
道路に水が流れてくる

暗渠が詰まって水が流れた
＜東日本大震災以前＞

砂防ダムに土砂が
溜まってきている

土砂が流れた
＜令和元年 台風19号＞

東日本大震災のとき、
大槌町方面からきた火事で
木が少なくなったため、
土砂が出やすくなった

【室浜の宿】
がけ崩れが発生した
＜令和元年 台風19号＞

土砂が1m位溜まった
＜令和元年 台風19号＞

泥水が溜まる(アンダーパス)
＜令和元年 台風19号＞

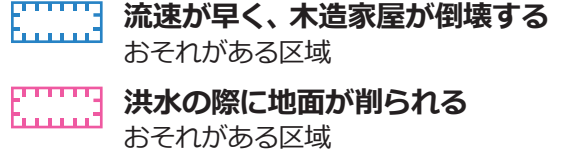
土砂が溜まった
＜令和元年 台風19号＞

排水路が詰まった
＜令和元年 台風19号＞

床下浸水した
＜平成28年 台風10号＞

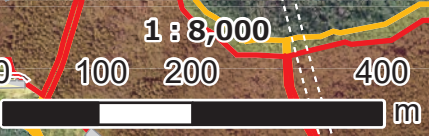
上流で大雨が降り、
堤防(土手)が低いため
水が越えた
＜昭和40年ごろ＞

家屋が倒壊するおそれのある区域
(家屋倒壊等氾濫想定区域)



国土交通省東北地方整備局
南三陸国道事務所
[洪水・土砂災害緊急避難場所]

鵜住居小学校・釜石東中学校
第1体育館・第2体育館
[洪水・土砂災害緊急避難場所]



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 令元情使、第688号) 航空写真は、2016年9月に岩手県が撮影した写真を使用した。